



町内会長と市長が調印

協定式は、西町弁天町内会から伴会長はじめ多くの町内会会員の皆さんが、また市からは星野市長はじめ関係職員が出席して、弁天町内会の皆さんの活動の拠点である西町地域センターで行われました。

式では、まず市から現在進めている防災まちづくりの取組みや本協定に至る経緯を説明した後、町内会長と市長の間で署名・調印を行いました。続いて

## 西町弁天町内会地区で、防災まちづくり推進地区事業を開始します

### 市内で8番目となる「推進地区」が誕生



市では、応募のあった西町弁天町内会地区（約670世帯）を防災まちづくり推進地区に指定し、8月21日に同町内会（伴忠彦会長）と協定を締結しました。地区の活動の歴史と現状、今後の取組みなどを紹介しました。

→都市計画課（内511）

て、町内会長と市長から、それぞれ両者の協力・共同関係が重要であるとのあいさつがありました。その後、今後の取組みに関する懇談会を持ちました。

### 西町弁天町内会の概要

市内で8番目の指定となった西町弁天町内会地区は、名前のとおり市内の西部に位置し、立川市と接している面積34.5haの弁天通りを中心とした南北に長い地域です。

地域内は、地区全体面積の26%を占める農地に恵まれており、比較的ゆとりのある地域ですが、このところ農地の宅地化で生活環境の変化が見られます。

この地域には、江戸時代中期の1730年ごろから人が住み始め、玉川上水の分水である弁天用水が完成したところから戸数が増えました。その後、昭和45年には、弁天町内会として活動を始め、今に至っています。

協定式は、西町弁天町内会から伴会長はじめ多くの町内会会員の皆さんが、また市からは星野市長はじめ関係職員が出席して、弁天町内会の皆さんの活動の拠点である西町地域センターで行われました。

式では、まず市から現在進めている防災まちづくりの取組みや本協定に至る経緯を説明した後、町内会長と市長の間で署名・調印を行いました。続いて



応急救護講習会

西町弁天町内会では、早くから炊出し訓練や応急救護講習会など実践訓練を行ったり、防災施設の見学会を通じて防災意識を高めたりして、災害時に備える活動を進めてきました。

そのような中で発足した防災部では、それまでの活動に加えて、街頭消火器や消火栓の位置などを確認する「まちの点検」を行ったり、数々の防災活動を通じて町内会の皆さんに紹介するための「防災ニュース」を発行してきました。

また、防災部を中心とした地域の皆さんは、平成14年から西町四丁目のカメ井戸で毎月1回「井戸端会議」を開催しています。この井戸端会議では、日常的な地域の話、防災やまちづくりの話など、身近な話題を話しあったり、井戸水の簡易的な水質検査を行ったりしながら、地域の皆さんや市職員との連携を深めています。

西町弁天町内会では、早くから炊出し訓練や応急救護講習会など実践訓練を行ったり、防災施設の見学会を通じて防災意識を高めたりして、災害時に備える活動を進めてきました。

そのような中で発足した防災部では、それまでの活動に加えて、街頭消火器や消火栓の位置などを確認する「まちの点検」を行ったり、数々の防災活動を通じて町内会の皆さんに紹介するための「防災ニュース」を発行してきました。

また、防災部を中心とした地域の皆さんは、平成14年から西町四丁目のカメ井戸で毎月1回「井戸端会議」を開催しています。この井戸端会議では、日常的な地域の話、防災やまちづくりの話など、身近な話題を話しあったり、井戸水の簡易的な水質検査を行ったりしながら、地域の皆さんや市職員との連携を深めています。



炊出し訓練

### 今後の取組み

今後は、地域の皆さんと市が協力して地区の防災計画書をつくりあげ、これに基づいて、できることから具体的な対策を講じていき、安全で住み良いまちづくりを進めていきます。計画書作成に要する3年間は、市から派遣するコンサルタントから、専門的な指導助言を受けながら事業を進めます。

まずは、弁天町内会の皆さんと市が協力して「まち歩き（実地踏査）」やアンケート調査を通じて、防災上問題となる場所などの実情を把握し、それを災害危険地図として表していきます。これを町内会全員に配布し、地域の防災環境に関する共通の認識を持つようします。

続いて、地図を基に地域の皆さんが防災上問題があると思っただ事柄の解決方法を具体的に検討し、防災計画書としてまとめ

**第17回「市民防災ひろば」開催**  
10月1日(土)

**災害の備えは家庭から**

私たちは、自分の住んでいる地域（まち）が災害に強い、安心して暮らせる地域（まち）であることを望んでいます。

国分寺市民防災推進委員会では、防災まちづくりは家庭からであるとし、市民の皆さんと防災について楽しく学び、ふれあう場として「市民防災ひろば」を開催します。

日時 10月1日(土)午前10時～午後2時(会場)けやき公園(雨天時はスポーツセンター)「開設コーナー」(本部・車椅子・A・防犯・ライフレイン)・お楽しみコーナー(子ども工作・体験コーナー(煙体験・起震車・はしご車・緊急通報・初期消火・助け合いのコーナー(救出救助・応急手当・家具転倒防止・備えのコーナー(防災知識・緊急カード・防災用品など)「主催」国分寺市民防災推進

「防災まちづくり推進地区」の定例的な会議に出席し、その時々合った情報提供を行っています。

最近では、関東地方で発生している地震に関連して、地域住民の方が疑問に思っている地震への備え、地震が発生した場合の市の対応などに関する話し合いを行っています。

②「防災ニュース」の印刷  
地域の皆さんが行うニュース

**市民防災ひろば 会場案内図**

国分寺市民スポーツセンター

**体験コーナー**  
煙体験 火災の煙の中の避難体験！  
起震車 震度3を体験しよう  
はしご車体験 119番通報など体験してみよう！  
初期消火訓練

**お楽しみコーナー**  
子どもコーナー 竹筒づくり体験！  
防災知識 最新グッズや最新の防災グッズを体験しよう！

**本部・くらしのコーナー**  
市民防災「ひろば」本部 防災相談など  
JA 野菜販売  
ライフレイン ライレインに関するパンフレット配布  
防災用品 防災用品の展示・予約販売

**助け合いのコーナー**  
救出救助体験 人助けに役立ち！  
応急手当訓練 安全な助け合い！  
家具転倒防止 家具転倒防止体験！

**備えのコーナー**  
防災用品 防災用品の展示・予約販売  
緊急カード 緊急連絡先やカードにしよう！

↓都市計画課（内511）

「市民防災ひろば」のほか、会の情報誌「市民防災だより」の発行、「防災講演会」「家具転倒防止器具の取り付けお手伝い」や自治会・町内会との協力による「応急手当講習会」などを開催しています。

「市民防災ひろば」のほか、会の情報誌「市民防災だより」の発行、「防災講演会」「家具転倒防止器具の取り付けお手伝い」や自治会・町内会との協力による「応急手当講習会」などを開催しています。

**国分寺市防災まちづくり推進地区**

地図番号	推進地区名	協定締結日
①	高木町地区	昭和56年2月13日
②	本多地区	昭和57年1月16日
③	泉町三丁目地区	昭和59年1月23日
④	東恋ヶ窪六丁目地区	昭和60年5月23日
⑤	新町地区	平成6年12月22日
⑥	国立団地地区	平成8年5月13日
⑦	戸倉(中・西・北)地区	平成14年2月16日
⑧	西町弁天町内会地区	平成17年8月21日

↓都市計画課（内511）

市が貸与・助成した防災資機材

「地域を災害から守ろう」市民による安全で住み良いまちづくり  
「防災まちづくり推進地区」って何だっ？  
市内の27%の地域で「防災まちづくり」が進められています

最近、関東地方では、多くの地震が発生しています。7月23日午後4時35分には、都心部で最大震度5強(マグニチュード5.7)を記録する地震が発生しました。

政府の地震調査委員会でも、今後30年以内に南関東地方でマグニチュード7程度の地震が起こる確立が70%と発表しているのとおり、地震は、決して遠い存在ではなく、起こりうるものなのです。そこで、市では、地域の皆さんと協力・共同し

会における安全で住み良いまちづくりである「防災まちづくり」の活動を通じて、地域住民の連携を深めていくことが大切になります。このため、身近な地域の防災や環境上の問題について、調査や話し合いを重ね、必要な対策を地域の皆さんの手で決めること、そして、地域で合意されたことは、できることから実行に移していくことを基本に進めています。

活動主体は、防災まちづくり推進地区は、市内各地域の一定のまとまり(規模としては、おおむね50世帯以上)のある地域で構成されています。

活動内容は、8つの「防災まちづくり推進地区」では、地区の実情にあつたさまざまな活動を行っています。

市からは、地域で防災まちづくり活動を市民と協力・共同して進めている中で、次のようなお手伝いをしています。

①地域に不足している防災やまちづくりに関する情報提供や技術的な支援

「防災まちづくり推進地区」の定例的な会議に出席し、その時々合った情報提供を行っています。

最近では、関東地方で発生している地震に関連して、地域住民の方が疑問に思っている地震への備え、地震が発生した場合の市の対応などに関する話し合いを行っています。

②「防災ニュース」の印刷  
地域の皆さんが行うニュース

市では、地域で防災まちづくり活動を市民と協力・共同して進めている中で、次のようなお手伝いをしています。

①地域に不足している防災やまちづくりに関する情報提供や技術的な支援

市では、地域で防災まちづくり活動を市民と協力・共同して進めている中で、次のようなお手伝いをしています。

①地域に不足している防災やまちづくりに関する情報提供や技術的な支援

毎年実施している主な活動内容は、道路・塀・消火器などの安全点検のための「まち歩き」、初期消火・応急救護訓練、炊き出しなどの「実践的訓練」、防災施設などの「視察研修」、そして、それらの活動を地域住民に知らせる「ニュースの発行」などです。また、家庭内の安全対策、自宅の耐震診断などに関する情報提供も大切な活動です。地震への備えは、被害の軽減につながり、住民にとつては有効なものとなります。

地域社会は、居住者の出入りや住宅の建設など毎年変化していきます。このような変化に対応していくためにも、地域の皆さんが継続して取り組んでいる「防災まちづくり推進地区」の活動が重要になります。